

## 令和5年第3回区議会定例会 区長挨拶要旨

令和5年第3回区議会定例会の開会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

この間、区政は、区議会並びに区民の皆様との連携・協働により、着実に進捗しております。深く感謝を申し上げます。

はじめに、『JR新小岩南口ビル6階フロアの行政サービス施設「えきにこわ」の開設』について申し上げます。

JR東日本が新小岩駅の南口に建設を進めてまいりました「JR新小岩南口ビル」が本年10月1日に開業することとなりました。「えきにこわ」も同日にオープンいたします。

これまで、地元のご意見を伺い、区議会で報告をしてまいりましたが、「えきにこわ」には、平日夜間や土曜・日曜・祝日も業務を行う新小岩区民事務所のほか、多目的ひろば、多文化共生と地域活動に関するコーナー、ワーク&スタディブース、新小岩図書サービスカウンターを設置し、それぞれサービスの提供を開始します。

今後、駅直結という立地の良さを生かし、地元の新小岩地区をはじめ、区民の皆様にも長く愛される施設にしてまいります。

次に、「葛飾区児童相談所の開設」についてです。

本区において、長年に渡り準備を進めてまいりました葛飾区児童相談所が、いよいよ本年10月1日に開所いたします。

これまで区議会をはじめ、関係機関や関連団体の皆様から、数多くの貴重なご意見やご協力をいただきながら準備を進めてまいりました。

葛飾区児童相談所の開設は、区民、事業者、関係機関、区が、子どもたちの将来を守り、本区をより良くしようという強い思いが結実したものであり、まさに協働の一つのシンボルになるものです。

この協働を更に強固なものにするため、開設後は、区立の児童相談所である強みを生かし、関係機関や関連団体の皆様と共に子育て支援のネットワークづくりを積極的に進め、子どもの権利、特に児童虐待の防止に向けた対応を強化してまいります。

次に、「令和5年度第三次補正予算案」についてです。

まず、デジタル化を推進する観点から、区職員の業務効率化を一層推進し、区民サービスの向上につなげるための対話型生成AI導入に係る経費を計上いたしました。業務において積極的に活用し、具体的な業務改善や区民サービスの向上につなげてまいります。また、人材不足が社会的な課題となっている介護サービス事業所について、更なるICT化を図るため、業務効率化ソフトを導入する事業所を支援するための経費を計上いたしました。

また、外国人観光客の増加を中心に回復してきている観光分野において、外国人旅行者や若年層をターゲットに本区の魅力を発信するため、葛飾柴又の文化的景観を活かした誘客イベントを実施する経費を計上いたしました。

さらに、都市計画道路整備の進捗に伴う用地取得費を計上するとともに、早急に財政措置が必要と判断される経費として、令和8年度に実施予定のイベントである「(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか」に係る基本計画策定経費や待機児童解消を目的とした私立学童保育クラブの整備費用を助成する経費などを計上いたしました。

以降、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するための主要事業の進捗状況を申し上げます。

第1に「いつまでもいきいきと幸せに暮らせる、安全・安心なまち」について申し上げます。

はじめに、「令和5年度総合防災訓練」についてです。

関東大震災発生から100年という節目を機に、9月10日に都心南部を震源とする地震を想定した災害対策本部運営のための図上訓練を実施いたしました。訓練当日においては、発災後72時間における本部各班の重要業務の確認や、東京都防災システム、高所カメラなどの機器を実際に用い、データの入力や被災状況の確認などを実施したところです。警察、消防、自衛隊など関係機関もリエゾンとして参加いただき、災害対策本部運営時の役割分担と円滑な情報共有について再確認いたしました。

あわせて、今年度は、配信動画を活用して約3,000人の職員を対象とする首都直下地震時の職員の対応についての研修を実施いたしました。この取組で得た気づきを基

に、葛飾区地域防災計画や災害対策本部マニュアルなどの見直しを図ってまいります。

また、地震や台風などの災害時に、地域が協力して学校避難所開設の初動活動や、開設後の運営を円滑に行うため、これまでに避難所運営訓練などを23回開催しており、引き続き、地域の避難所運営会議や訓練に対する支援を強化してまいります。保育園や学校、地域のイベント等においても、起震車やまちかど防災訓練車、水陸両用車、防災教育用の絵本などを活用した「防災キャラバン」を実施するなど、若い世代の防災意識も高めてまいります。

さらに、10月15日には、自助・共助の意識醸成を目的として葛飾区防災シンポジウムを開催いたします。第一部の基調講演では、関東大震災以降の本区における都市機能の変遷、防災対策の発展と近年の震災を踏まえた今後の課題について講演をいただきます。第二部のパネルディスカッションでは、自治町会や事業者などにより進められている個別具体的な防災施策の進捗状況や現状の課題を話し合い、首都直下地震時の被害低減や応急対策に向けた自治町会・事業者・行政の取組を共有いたします。

今後も、災害対策本部機能の更なる強化と区民による地域防災力の向上を図ることで災害対応力を一層強化し、災害時に迅速かつ適切に対応できるようにしてまいります。

次に、「葛飾区電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業」についてです。

8月21日時点で、住民税非課税世帯45,742世帯、住民税均等割のみ課税世帯5,143世帯への支援給付金の給付が完了いたしました。なお、家計が急変した世帯と令和5年4月2日から葛飾区に転入した世帯は20世帯です。申請の締切りが9月30日までとなっておりますので、今後も広報かつしか等による周知、勸奨通知の送付など、支援給付金の対象となる方々が確実に受給できるよう取り組んでまいります。

次に、「新型コロナウイルスワクチン接種」についてです。

新型コロナウイルスワクチン接種については、国が令和5年度の一年間、特例臨時接種を継続することとしており、春の接種は重症化リスクの高い65歳以上の方、基礎疾患を有する方、医療従事者等を対象に実施いたしました。

9月20日からは生後6か月以上の全ての区民を対象に秋の接種が始まります。春の接種同様、個別の医療機関での接種を進めております。依然として、新型コロナウイルス

ス感染症患者が一定数報告されており、今後もワクチン接種を希望する方が速やかに接種できるよう、引き続き、区内医療機関と連携して取り組んでまいります。

次に、「特別養護老人ホーム等大規模改修工事に係る代替施設の整備」についてです。

区内には建設から20年以上が経過し、老朽化した特別養護老人ホーム等の高齢者施設が複数あります。これらの施設の大規模改修を行う際には、利用者に一時的に転居していただく必要があり、現在、この代替施設の整備に向けた準備を進めているところです。本年3月に葛飾区土地開発公社で都営水元小合アパート跡地を取得し、今年度は施設整備に向けた基本計画を策定いたします。この度、素案をとりまとめましたので、所管委員会にご報告をさせていただきます。

第2に「子どもが元気に育ち、誰もが生涯にわたって成長し活躍できるまち」について申し上げます。

はじめに、「葛飾区子どもの権利条例」の制定についてです。

本年6月から7月にかけて実施したパブリック・コメントや子ども等からの意見聴取の内容を踏まえて、10月1日を施行日とする「葛飾区子どもの権利条例」案を本定例会に提出させていただきました。今後、本条例に基づき、子どもの最善の利益を実現するため、区民や区内の活動団体等と区が協働しながら、子どもの健やかな成長を支える事業を推進してまいります。

次に、「特色ある幼児教育の推進事業」についてです。

今年度から新たに実施することとした本事業は、各園が創意工夫を重ね、発展させてきた幼児教育の取組を支援し、そのノウハウを広く情報発信するものです。

今回、当初の想定を超え、多くの園が申請の意向を示しており、これらの園を広く支援していくために、必要な経費を第三次補正予算案に計上しました。

次に、「保育所等における多子世帯の負担軽減の拡大」についてです。

現在、認可保育所等において、3歳以上及び住民税非課税世帯等の0歳から2歳までの子どもを対象として、保育料を無償化しています。また、多子世帯については、第

二子の保育料を半額とし、第三子以降は無償化しているところです。

さらに、本年10月からは第二子の保育料も無償化するなど、多子世帯の負担軽減を更に拡大するための経費を第三次補正予算案に計上しております。

次に、「物価高騰にかかる私立保育施設への緊急対策事業」についてです。

施設運営に必要な経費について物価高騰の影響を利用者負担として反映できない私立保育所、私立幼稚園などの子育て施設運営事業者に対し、安全で安心な質の高い保育の安定的な提供に必要な支援を実施します。

今回の事業は令和5年度の上半期を実施期間とするもので、4月から9月分までの対象経費について第三次補正予算案に計上しております。

引き続き、国や東京都の施策との連動も図りながら、区民にとって必要なサービスを提供する事業者への支援を行ってまいります。

次に、「学校等における安全管理に向けた取組」についてです。

本年4月に、杉並区の区立小学校の校庭で、転倒した児童が地面に露出していた釘で大けがをするという事故が発生しました。これを受け、本区においては、目視点検のほか、児童・生徒等の安全確保に万全を期するため、夏季休業日を中心に改築中で校庭を使用していない3校を除いた全ての学校等について、金属探知機による調査を実施しております。

8月17日現在、調査対象施設77施設のうち調査が完了した28施設から、釘等が2,852本発見されたため、発見された釘等については除去を終えたところです。これらの大半は、運動会などの際に目印として使用した釘等であったため、釘等を使用する際は、打ち込んだ本数と抜いた本数を必ず確認することなどについて、既に学校に周知、徹底いたしました。

また、保育所等につきましては、園庭使用前に毎回、目視点検を行っておりますが、今後、金属探知機による調査を随時進めていく予定であり、調査に要する一部経費について第三次補正予算案に計上しております。今後も引き続き、学校等における安全管理の徹底に取り組んでまいります。

次に、「葛飾区トップアスリート」についてです。

現在、本区では 2024 年オリンピック・パラリンピックパリ大会や 2025 年デフリンピック東京大会など、世界大会を目指す本区ゆかりのアスリート 23 名を葛飾区トップアスリートに認定して応援しています。本年 7 月 7 日には、「葛飾区トップアスリート激励会」を開催し、2024 年オリンピック・パラリンピックパリ大会出場を目指して活動している選手達について区を挙げて応援しました。

そして、7 月に行われました世界水泳選手権福岡大会では、葛飾区トップアスリートの松元克央（まつもと かつひろ）選手と成田実生（なりた みお）選手が出場し、活躍されました。今後、2024 年オリンピック・パラリンピックパリ大会の選考会を皮切りとして各種大会が開催されます。本区のトップアスリートが世界の舞台で活躍することにより、子どもたちに夢を与え、多くの区民に感動とスポーツの素晴らしさを伝えることができます。引き続き 23 名の葛飾区トップアスリートを区民の皆様と一緒に応援する環境づくりを進めてまいります。

また、共栄学園高等学校が今年の第 105 回全国高等学校野球選手権大会に初出場を果たしたことから、区民による応援の機運醸成を図るため、パブリックビューイングを実施し、共栄学園の甲子園での活躍を応援いたしました。共栄学園の都大会と甲子園での活躍は、多くの区民に感動をもたらしたと感じております。

引き続き、区内に通う学生・子どもたちが活躍できるよう区としても支援し、応援してまいります。

次に、「葛飾柴又の文化的景観」についてです。

葛飾柴又の文化的景観を保存し、発展的な継承を図るため、令和 4 年 3 月に策定した葛飾柴又の文化的景観整備計画に基づき、文化的景観を構成する建築物などの修理等を行う所有者を支援するための補助制度の創設を予定しております。今年度中に修理等に着手することを希望している案件についての予算を第三次補正予算案に計上いたしました。

今後も、柴又地域の皆様と協力しながら、葛飾柴又の文化的景観を、次の世代に引き継いでいくとともに、その魅力を区の内外に発信してまいります。

第 3 に「人や自然にやさしく、誰もが快適に暮らせる美しいまち」について申し上げ

ます。

はじめに、「中川かわまちづくり」についてです。

去る8月10日に国土交通省のかわまちづくり支援制度における計画の登録が決まりました。これにより、高砂橋から上流の国管轄の中川兩岸にテラスが整備されます。区では展望デッキや船着き場、市街地から川への動線の整備などを進めてまいります。

また、これまでの河川利用の制限が緩和され、オープンカフェの設置や舟運、水上イベントの実施など、河川空間を活用した新たな街づくりの可能性を広げることにより、川と地域が一体となったにぎわいの創出が可能となります。今後とも、地域の皆様と共に、川に囲まれた葛飾ならではの新しい街づくりを進めてまいります。

次に、「公共交通の充実」についてです。

東立石地区におけるグリーンスローモビリティを用いた地域主体交通の取組については、運行主体である東立石グリスロ運営協議会と、実証運行における役割分担や費用負担に関する協定を7月14日に締結し、10月4日から実証運行を予定しております。

この取組は、地域が運行主体となりグリーンスローモビリティを走行させるものとなりますので、協議会としっかり連携し、安全・安心な運行を行うとともに、利用者ニーズへの対応や運行管理の評価・分析を進めてまいります。

次に、「立石駅北口地区の街づくり」についてです。

立石駅北口地区市街地再開発事業につきましては、6月15日に権利変換計画が都知事から認可され、9月から解体工事に着手したところです。

今後、令和6年6月には建築工事に着手する予定であり、令和10年10月の工事完了を目指して、事業が着実に進められるものと考えております。

次に、「立石駅南口地区の街づくり」についてです。

立石駅南口西地区では、6月12日に開催の葛飾区都市計画審議会において、「立石駅南口西地区第一種市街地再開発事業の決定について」など関連する3つの都市計画案が議決され、7月12日に都市計画決定いたしました。

また、立石駅南口東地区におきましても、令和元年6月の都市計画決定後、新たな事業推進体制の下、本組合設立に向け、積極的に活動を行っております。

本区は、安全で安心して住み続けられる立石駅周辺地区の街づくりの実現に向けて、引き続き再開発組合等を支援してまいります。

次に、「ホームドアの設置」についてです。

J R 亀有駅、金町駅については、かねてより要望してまいりましたが、今年度中の供用開始が J R 東日本から発表があったところです。また、J R 新小岩駅総武緩行線は機材等の調達の関係から令和6年度第2四半期までの供用開始となりました。

さらに、京成線についても、京成高砂駅へのホームドア設置に向けたホーム等の補強工事が来年度から始まることとなりました。今後は、順次、他の駅についてもホームドアが設置できるよう、鉄道事業者への支援を進めてまいります。

第4に「葛飾らしい文化や産業が輝く、笑顔とにぎわいあふれるまち」について申し上げます。

はじめに、「ふるさと葛飾盆まつり 2023」についてです。

去る9月2日にふるさと葛飾盆まつりが開催され、当日は区内各地域から大勢の皆様にご来場いただきました。恒例の練り歩きでは、動きの揃った見事な踊り、笑顔いっぱいでの踊りなど、練習の集大成をご披露いただきました。今回は子ども向けエア遊具も用意したことで、子どもたちが元気いっぱいに遊び、そして、輪踊りや子ども盆踊りコーナーでは、生き活きと踊る様子を見ることができました。今後も子どもから大人まで楽しめるイベントとして実施してまいります。

次に、「商工振興」についてです。

葛飾区商店街連合会が7月に発行した「かつしかプレミアム付商品券」については、発行予定数を大幅に上回る応募があったため、今年度は第2弾として、11月から使用できる10万セット、12億円分の発行を支援します。また、9月27日に発行するデジタル版のプレミアム付商品券「かつしかPAY」の発行も支援し、今年度からは一部大型店でもご利用いただける予定です。より多くの区民にご利用いただき、区内商店街



のデジタル化の推進及び区内商業の活性化、区民消費の下支えを図ってまいります。

12月には、昨年度ご好評をいただきました「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中に対象店で対象アプリを利用して支払った方に対し、利用金額に応じて最大20%のポイントを還元します。このキャンペーンにより、キャッシュレス決済の更なる導入促進と地域経済の活性化を図ってまいります。

また、平成30年から「まちあそび人生ゲーム」を行ってきた青戸地域をPRするため、人生ゲーム55周年企画として、区と株式会社タカラトミー、京成電鉄株式会社の三者で協働し、7月19日に、まちの入口となる「京成線青砥駅」の構内看板を「人生ゲーム」仕様にいたしました。

加えて、7月20日から8月31日まで、スマートフォンを使用して区内の京成線8駅と青戸の商店街を巡り、オリジナル画像を読み込むことでスタンプが貯まる「人生ゲーム55周年記念京成線デジタルスタンプラリーin葛飾」を実施いたしました。小学生とその保護者を中心に多くの方々に青砥駅周辺の商店街にご来訪いただき、青戸地域の商店街のにぎわいづくりにつながりました。

さらに、今年も第39回の葛飾区産業フェアを10月20日から22日までと10月27日から29日までの2週に渡り開催いたします。今年は、コロナ禍で制限していた各団体の体験や飲食を再開し、来場者の方に十分楽しんでいただけるイベントとする予定です。この産業フェアの実施を通じ、区内産業の活性化を図ってまいります。

次に、「観光振興」についてです。

去る7月25日に4年ぶりとなる葛飾納涼花火大会が開催され、77万人という多くの方々にご来場をいただきました。過去最大の2万発の花火が柴又の夜空を彩り、アフターコロナの新しい大会となりました。皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

また、映画「男はつらいよ」のロケ地との協働による「寅さんサミット2023」を11月3日・4日に開催いたします。今回は「昭和レトロ」をテーマに、まち全体で映画の世界観を演出する中で、初参加を含めた22の地域の魅力とともに、観光地柴又の魅力発信と一層の知名度向上につなげてまいります。

さらに、亀有地域観光拠点施設につきましては、建設工事や展示物の制作、管理運

営計画の策定を進めております。そうした中、地元商店会の連携・協働による、施設開館をPRする街灯へのフラッグ掲出、また、集英社には「こち亀」読み切り作品掲載時における『週刊少年ジャンプ』誌上での施設情報の発信を行っていただきました。今後も、地元や関係機関、著作権元と協働しながら、開館に向けた効果的な広報活動を行ってまいります。

加えて、柴又では、川甚跡地を活用した新たな観光拠点施設における事業・管理運営計画の検討や建物改修の基本設計を行っております。

これらの様々な事業を引き続き展開し、葛飾観光の持続的発展に向けた取組を推進してまいります。

以上、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けた主要事業の進捗状況を申し上げます。

その他、今定例会にご提案を申し上げます案件につきましては、上程の折に主管者から詳細に渡りご説明いたしますので、よろしくご決定をいただきますようお願い申し上げます。令和5年第3回区議会定例会の開催に当たっての私の挨拶といたします。